2. 心の成長

家庭で、地域で、学校で、人との「つながり」を大切にしましょう！

地域での奉仕活動を行ったり、体験活動などをしたりすることで、豊かな心が育ちます。また、このような活動を継続すると、社会の一員として自覚が芽生えていきます。家庭･学校･地域で人とのつながりを大切にし、豊かな心を育みましょう。

家庭で、「家族の心のつながり」を大切にしていますか？

★ あいさつの実践からはじめ、親子での対話の場を設けていきましょう。まず、子どもの話に耳を傾けることから始めましょう。努力を認めてくれる、困ったときは相談できると感じたとき、親子の真剣な対話が生まれます。
★ 地域の行事や体験活動などに積極的に参加し、共通の話題を持ちましょう。
★ 家族みんなで過ごす楽しさ、愛情による絆を感じると、自分を大切にし、他人を思いやる心が育ちます。
★ 子どもにとって「お手伝い」は“家族の一員として自分が期待されている”ということを自覚する良い機会です。また、それを継続することで子どもの責任感が育ちます。
★ 自然体験活動をとおして豊かな感性が育ちます。

「地域とのつながり」を大切にしていますか？

まず、子どもと関わる大人同士が「つながり」を持つことが重要です。

★ 地域の行事に親子で参加する機会を設け、人との関わりから「豊かな人間関係」を学ぶことで、心が育ちます。
★ 人との交流で認められ自己存在感に気付き、人間関係づくりができます。

子どもの言葉遣いは気になりませんか？

◆大人から子どもへ心を育む場となるために、豊かな会話がなされることが大切です。まず、家庭で正しい言葉遣いを伝えましょう。
◆子どもの言葉遣いに注意をするべき立場のものとして、親の役割が強く期待されます。
◆あいさつは人との交流の基本、まず、あいさつのできる子を育てましょう。人と人とのコミュニケーションをする中で、正しい言葉遣いが身につきます。

家庭で家族のコミュニケーションづくりを大切にしていますか？

家庭で子どもと話していますか。「この頃、変わったことはない？」と語りかけてみましょう。大人が子どもの話を真剣に聞き、心をくみ取り、聞き手のお手本を示しましょう。人は言葉を使って自分の気持ちを相手に伝え、相手の心もくみ取ります。

まず、大人が手本を示し、丁寧な言葉を使いましょう。